

第2回検討会の概要

平成17年1月19日

第2回牛の月齢判別に関する検討会の結果

平成17年1月19日
厚生労働省
農林水産省

- 1 平成17年1月19日、厚生労働省及び農林水産省は、専門家による「牛の月齢判別に関する検討会」の第2回会合を開催した。
- 2 第2回検討会では、
 - ① 米側から、「牛の生理学的成熟度に関する研究」の最終報告書[PDF]が提出され、説明を受けるとともに、
 - ② 日・米専門家間で、当該報告書の内容について専門的、科学的な観点から意見交換を行った。
- 3 意見交換の概要
 - (1) 日本側からA40の月齢分布が17か月齢を境として隔絶していることに関し科学的な説明を求めたのに対し、米国側は、
 - ① ホルモン分泌の関係で急速に骨化が進むこと
 - ② A40とA50は骨化の程度で正確に判別できるため、バラツキが少ないこと、との説明を行った。

日本側は、この説明は理解できるとしつつ、追加情報の提供を求めた。
 - (2) 日本側から格付基準(A40)で月齢を判別する上で、サンプルのランダム性、結論を導く際の統計分析の不十分さ等についての問題点を指摘し、米国側に追加的な統計分析を求めた。
 - (3) 米国側は、日本側のコメントに対し、必要な追加的情報を提供することとなった。
- 4 まとめ

日本側専門家から指摘された統計上の課題等に関し、米側から今後提供される追加情報等を受けて、次回の検討会で、日本側専門家において議論し、米側報告書の最終的な評価を行うこととなった。

(別添) : 「牛の月齢判別に関する検討会」委員名簿・米側専門家[PDF]